

## ※ 今週のアウトルック (2/16~2/20)

先週は、水曜日までは円安気味に推移していたのですが、木曜日の「日銀の量的追加緩和は逆効果だった」という日銀関係者の情報により、一気に円高方向に変わってしまいました。

今週は、ギリシャ情勢の行方が気になるところですが、市場は楽観的な見方が多数派のようです。

順調に交渉がまとまれば、ユーロの買い戻しがある程度入ることも予想されます。

先週のドル円は、今後日銀量的追加緩和がないのではないかとの憶測により、週中から円高方向に方向転換しています。

今週は、日銀の動向を見極めづらいことなどから、動きづらい展開となることも予想できますが、ギリシャ情勢がひとまず落ち着き、ユーロが大きく上昇した場合には、ドル円も上昇することとなりそうです。

逆に予想に反し、ギリシャとECBの話し合いがまとまらなかった場合には、一気にリスクオフ円高が大きく進むことも考えられます。

ドル円の予想レンジは114円から121円です。

先週のユーロドルは、ギリシャ情勢への楽観的な見方から、1.14付近まで戻しています。

今週は、ギリシャとECBの交渉次第ということになりそうですが、予想通りうまくまとまれば、ある程度の買い戻しが入ることは予想されます。

逆に予想外に交渉が決裂した場合には、パニック的な売りが出ることと考えられますので、ユーロ円、ユーロドルともに大きく下落することとなると思います。

ユーロ円の予想レンジは120円から140円です。

ポンド円は、上昇トレンドに入りつつあるように思います。

ただ今週は、予想通りにギリシャとECBの話し合いがまとまれば、この傾向は維持できると思われそうですが、万が一、交渉が決裂した場合には、一気に崩れることも考えられます。

ポンド円の予想レンジは176円から186円です。

今週は、ギリシャとECBの交渉がまとまることが、すでにある程度織り込まれているので、万が一、まとまらなかった場合の反動は大きなものになってしまうかも知れません。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。